

F 作者	牟礼慶子
F 形式	口語自由詩
E 口語／文語	現在の言葉／昔の言葉
D 詩の形式 (3)	①定型詩 (五七など、一定の音数で構成された詩) ②自由詩 (一定の音数のリズムがない詩) ③散文詩 (パッと見、普通の文章のような詩)
E 比喩 (何か／種類 3)	たとえ ①直喩 (「～のような・ようだ」などを使った比喩) ②隠喩 (①③でない比喩) ③擬人法 (人でないものを人にたとえる)
F 本作で比喩が使われている箇所とその種類 (3)	①もっと大きな海が眠っている・擬人法 ②ことばがはぐくんている優しい世界・擬人法 ③蕾を差し出している美しい季節・擬人法
D 対句 (法) (何か)	似たような表現を繰り返す
F 「空の上には～眠っている」で使われている表現技法	対句 (法)
F 「胸の奥で～友だち」で使われている表現技法	対句 (法)
E 体言止め	文末を体言 (名詞) で止めて余韻をだす
F 体言止めが使われている行	6 行目 8 行目 10 行目
D 作者の思い	見えない世界の向こうには、素晴らしい物事が確かに存在しているので、未来を信じて生きていこう。 という温かく、前向きな思い。

～詩歌の問題～

詩歌 (詩・短歌・俳句など) は、言葉が少ないが故に、いろいろと読めてしまう・解釈できてしまうことが大きな特徴です。そのため、学校・先生によって説明・答えがずれることがよくありますし、中には内容に深く立ち入らない学校・先生があります。故に、各問に対する答えが、塾・塾テキストと学校でずれた場合、必ず学校に従って下さい。

自分のランクと、それより下のランクのもの全部／下の文章は確テには出ませんが、きちっと理解して下さい。重要です。

S/A : 全て
B×S/A 以外
C×－ ※自分より下のランク
D×－ のものは全て
E×1 ※左記×教科書
F×1 のページ数